

胆管癌患者を対象としたFGFR2遺伝子融合に関する観察研究実施中のお知らせ

【胆道がんとは】

胆道がんは5年相対生存率が約20%と、膵がんに次いで予後の悪い難治がんであり、他のがんと比較して薬物療法の選択肢も限られております。近年、胆道がんでもゲノム異常の解明が進み、高い治療効果を期待できる分子標的薬の開発がすすめられています。



【当院での胆管癌への取り組み】

当院では胆道がんの治療に加えて、胆道がんの原因遺伝子として考えられているFGFR2遺伝子融合に関する以下の研究を消化器内科・消化器外科で実施しています。



<研究課題名>

切除不能進行性又は転移性の胆管癌患者における
FGFR2遺伝子融合の頻度を調査する観察研究

<研究期間>

2020年2月～2021年12月末

[胆管がんの患者様がいらっしゃいましたら当院 消化器内科
又は消化器外科へご紹介ただけると幸いです。](#)

【問い合わせ先】

三井記念病院 消化器内科 部長 戸田 信夫
住所：東京都千代田区神田和泉町1番地
電話：03-3862-9111

